



ネット/ケータイ禁止をのりこえて 対感染症的対応の限界

岡田 朋之

携帯電話の高機能化とともに低年齢層にも利用が広がる中、メールやウェブを通じたいじめやトラブルが子どもたちの間で深刻化しているといわれる。犯罪に巻き込まれたり、自殺に追い込まれたりすることもしばしば見られ、学校現場でもその対応に追われるようになった。

こうした状況に対し、昨年12月に大阪府教育委員会が、橋下大阪府知事みずから会見を通じて、携帯電話の小・中学校への持ち込み禁止、高校での使用禁止を打ち出したことは、全国的にも反響を呼んだ。その後、文部科学省をはじめ、各自治体でも学校での携帯電話禁止の動きが広がっていった。

しかし、この対応については疑問を挟む関係者も少なくない。というのも、小学生以下の場合、低学年になるほど、子どもが欲しがるからというより、親の意向で持たせるケースの方が多い傾向があるからだ。一方、中学生以上にとっては、携帯電話のメールが日常において不可欠のコミュニケーション手段になっており、それが前提となったある種の「ライフライン」のように受け入れられている状況は、大人たちの利用感覚とは大きく異なっている。

問題が拡大した背景には、情報教育の遅れという問題も横たわる。2003年の学習指導要領の改訂以後、高校での「情報」科の導入をはじめとして、情報教育の拡充が図られたものの、実際には機器やソフトの使用に関する内容が多く、基礎的な知識やモラルなどの総合的な能力の向上などにはあまりウェイトが置かれてこなかった。学校での情報設備の充実も不十分な中では、いまやもつ

とも身近な情報メディアとなった携帯電話への適切な接し方を学ぶことで、そうした遅れをカバーできたはずである。しかし、学校への持ち込みや使用を禁じることによって、逆にこれらの対象を用いて教科の中で取り上げにくい状況を生み出してしまったことは否めない。

携帯電話やインターネットを家庭で与える親がきちんとしつけるべきだ、という声もある。だが、ネットを通じたいじめや誹謗中傷などは多くの場合学校のクラスなどの人間関係から生じるので、学校側の関与がなくては問題は解決しにくい。

今年3月、私は生徒指導学会という団体の研究集会において、パネルディスカッションのコーディネーターを務めさせていただいた。登壇者には学校現場の先生方や警察の元指導員の方などが並んだが、その中ではどのパネリストも口を揃えて「禁止では何も解決しない」と発言していたのが強く印象に残っている。

ネットや携帯電話をめぐる諸問題については、有害メディアの規制やフィルタリングなどの対策が叫ばれるものの、特効薬は存在しない。また機能そのものに内在する特性がいろいろな問題を引き起こすものであるため、一律に禁止するような除菌や隔離といった対感染症的な対応で解決できるものではない。むしろ、ガンや生活習慣病のように、そのリスクは日常生活の中に広く潜する。望ましいIT社会のためには、現状を踏まえつつ粘り強く取り組んでいかなければならない課題なのである。

(総合情報学部教授)

HEADLINE

3面 学長選挙を公示

現学長の任期が9月末をもって満了することから、学長選挙を行う。今号は、今後の日程ならびに手続きについて紹介する。

4・5面

「わたしたちから提案します!」 関大エコスタイル

関大生がエコについて考えていることや、実際に取り組んでいることを紹介する。エコをもっと身近に感じ、エコライフを体感しよう。

8面

「世界に飛び出せ関大生!」 留学ってどんな?」

「留学」の言葉聞き、どんなことを想像するだろうか? 学生広報スタッフが、留学や語学の学習方法などについて取材した。

特集(学生企画)

- ②面: 4氏に名誉博士号授与
- ③面: 教職支援センター開設
- ⑥面: 第32回総合開発戦が開幕
- ⑦面: エクステンション・リリーフセンター
「夏期集中・後期開講講座」受付を開始



先日、改装された甲子園球場でプロ野球を観戦した。ライブならではのスポットの臨場感、応援を通じて選手・ファンとの一体感を久しぶりに味わうことができた▼阪神タイガースの選手たちが恵まれていることの一つは、多数の熱心なファンを持つことである。本学でも、体育会45クラブが活動し、近年多くの競技で優秀な成果を上げている。彼らは、文字どおりトップクラスのアスリートではあるが、関西大学の一員として、また身近な友人として日々活動している▼本日から伝統の総合開発戦が開催される。第32回の今年は、関西学院大学で熱い戦いが繰り広げられる。多くの学生・教職員の方々に、この機会に国内外で活躍する本学トップアスリート達の激しい戦いを、是非とも観戦していただきたい。特に今まで観戦したことがない高いレベルのスポーツ競技に、一つでも二つでも足を運び、目撃は体感することができない臨場感やワクワク、ドキドキを感じてもらいたい▼関西大学の名を背負って躍動する本学生諸君の熱心なファンとなり、そのスポーツ競技の面白さとともに、関大生としての一体感を味わうことができる。

(岡田 弘行)

学長選挙を公示

学生の除斥投票は7月4日まで

関西大学の現学長である河田梯一文学部教授の3年の任期がこの9月に終わります。そこで、左記のような「お知らせ」が学長、11学部長、法務研究科長、会計研究科長および心理臨床学専攻長の連名で、5月25日付で公表されました。

お知らせ

本年9月30日をもって現学長の任期が満了となりますので、「関西大学学長選挙規程」に基づき次期学長選挙を実施することになりました。この規程の大綱は別記のとおりで、学生諸君は、学長候補者選考委員会において選出される3名の学長候補者についての除斥投票を行うこととなります。除斥投票の実施期及びその投票用紙など必要な関係書類は、除斥投票の有権者(上記学長候補者が公示された日における在籍学生)に対し、「届出た住所」宛に6月24日付で郵送することになります。学長選挙が円滑に進捗するよう学生諸君のご協力をお願いします。

学長選挙の日程

文中で紹介されている「学長選挙規程(左表)が公表されました。大綱」に基づき、5月20日に11学部長、法務研究科長、会計研究科長および心理臨床学専攻長からなる学長選挙管理委員会が発足し、5月25日付の学長選挙公示第1号により、学長選挙管理委員会として飯田紀彦心理臨床学専攻長が就任しました。さらに、6月3日学長選挙公示第2号として選出された新学長の横顔は、本紙にて、学長選挙管理委員会の名で今回の学長選挙の日程を、次のとおり決定しました。

※学長選挙規程大綱は、掲示およびインフォメーションシステムでお知らせしておりますので、ご参照ください。

○学長候補者選考委員会
6月10日(水)
○学長候補者の公示
6月12日(金)
○学長候補者に対する学生の除斥投票
投票用紙などの発送
6月24日(水)
7月4日(土)
○投票の締切
6月24日(水)
7月4日(土)
○学長選挙会
7月29日(水)
以上

○除斥投票の集計結果発表
7月21日(火)
(除斥投票の結果、2名以上の失格者がなかった場合)
○学長候補者の最終的確定の公示
7月21日(火)
○除斥投票の集計結果閲覧
7月23日(木)
○学長選挙会
7月29日(水)
以上

教職支援センター 開設

教職支援センターは、教員養成段階から卒業後の教職生活までを一つの過程として捉え、教員としての必要となる資質能力の開発や実践的指導力の養成、教員採用試験対策等の就業支援、さらには本年度から導入される教員免許状更新講習の企画・実施等を行う教員養成の拠点として昨年10月に開設された。

本年4月には、実践的な教職教育の充実・強化、あるいは学校現場の視点やニーズを取り入れた教職指導体制を構築することも含め、教職支援センターの業務を具体的に推進していた。2名の特別任用教授(教職推進部所屬)を招へし、行政に精通された大阪府教育委員会行政職の竹内先

特別任用教授を招へい

・実施等を行う教員養成の拠点として昨年10月に開設された。

本年4月には、実践的な教職教育の充実・強化、あるいは学校現場の視点やニーズを取り入れた教職指導体制を構築することも含め、教職支援センターの業務を具体的に推進していた。2名の特別任用教授(教職推進部所屬)を招へし、行政に精通された大阪府教育委員会行政職の竹内先



教育後援会 総会を開催

平成21年度の教育後援会総会が、5月17日(日)、千里山キャンパスにおいて、在籍学生・保護者の出席のもと開催された。会長挨拶、前年度の事業・決算報告のあと、役員改選が行われ、今年度の会長には丹羽一郎氏が、また、監事には、栗谷洋氏と木下雅裕

「高槻キャンパス」の父母見学会を実施

5月16日の午後、高槻キャンパス父母見学会が実施された。千里山キャンパスで開催される教育後援会総会の前日、総合情報学部の施設を体験する恒例のイベントである。今年の見学会参加人数は全員で101人。自分の子供が4年間通学する総合情報学部だと、新たな顔ぶれが、と新入生、そしてもう一名は実際に学校現場(小学校)で生徒指導や学校管理に携わってきた学校長職の辻本先生とキャリアを有する方々である。お二人の先は原則月曜日から日曜日に、教職支援センターで業務を行うかたわら教職を志す学生のみならず、さまざまな相談に随時応じている。教職支援センターでは、両先生を中心に、教師になりたいたい」というみなさんの氏が出された。

今年度の開催にあたっては、開催日の朝に、新しいインフルエンザの感染が本学の近隣地域にまで及んだことから、緊急の措置としてマスクの着用をお願いし、内容を一部制変更し開催時間を短縮して行われた。また、午後から予定されていた学部別教育懇談会をはじめとする諸行事は、急遽、すべて中止した。

現在、当日実施できなかった学部別教育懇談会行事のうち、個人面談については、高槻キャンパスで家族一た。ホームページの画像や大学案内の写真のみではわからない、高槻キャンパスの豊かな自然の一部を実感してもらいたと思う。曇り空で小雨が降るあいにくの天気であったが、参加者は皆一様に満足した様子で、父母見学会は大盛況のうちに終了した。

高槻キャンパス 事務チーム

熱い思いを精一杯支援していく。なお、教職支援センターは、千里山キャンパス第2号舎1号館1階教職支援センターにある。

教職支援センター長 山本 登朗
文学部教授

竹内啓三特別任用教授
本学法文学部卒業後、大阪府教育委員会事務局教育行政課長として、府の教育行政全般を統括。本年3月教育次長を退職。

辻本修特別任用教授
本学経済学部卒業後、民間企業勤務などを経て、現在、市立鳳小学校校長を退職。

をを経て1977年4月に堺市立の公立小学校に教師として着任。以来、堺市教育委員会における教育行政職の経験も含め、30年以上学校教育に従事。本年3月に堺市立鳳小学校校長を退職。

■訂正 本紙第362号「学校法人関西大学 平成21年度予算について」の記事中、第6、7面「消費収支予算書 消費支出の部」の予備費の平成21年度予算は6,000,000円ではなく、6,000,000,000円です。お詫びして訂正します。

教育開発支援センター 設立記念フォーラムを開催

昨年10月、教育推進部内に設置された教育開発支援センターは、4月から本格的に稼働したことを記念して、5月30日、千里山キャンパスにおいて約150名の出席のもと、設立記念フォーラムを開催した(写真)。

フォーラムの統一テーマを「Faculty」(FacultyからはじめるFD)と設定し、第1部の基調講演では立教学院本部の寺崎昌男調査員「大学の政策を新動向FD・SDの課題を考へ」と題して、昨年12月の中教審答申からみる

高等教育改革とその動向などが論じられた。第2部では、「Facultyづくり」の取り組みをテーマとしてパネルディスカッションを行い、国立大学法人、公立大学法人、私立大学法人から招いたパネリスト5名から、各々が実践されている教育改善活動などの紹介があり、フロアからの意見を交えながら活発な討論が繰り広げられた。また、フォーラム終了後「イブニングFD」においても、活発な意見交換が繰り広げられ、実りの多いフォーラムとなった。(教務センター)

第4回 関西大学ミュージアム講座 「なにわの文化遺産(四)」をテーマに

日程	テーマ	講師
7月11日(土)	「近代大阪の建築」	関西大学なにわ・大阪文化遺産学術センター研究員 環境都市工学部准教授 橋寺 知子
7月18日(土)	「北村兼子とその時代—世界にはばかった女性ジャーナリスト—」	関西大学なにわ・大阪文化遺産学術センター研究員 文学部教授 大谷 渡
7月25日(土)	「近代大阪の文学」	関西大学なにわ・大阪文化遺産学術センター研究員 文学部教授 増田 周子

※いずれも時間は10時30分～12時
会場 関西大学なにわ・大阪文化遺産学術センター(博物館内)文化遺産実習・展示室(1階)
申込受付は6月15日から開始しています。その他、申込方法など問い合わせは地域連携センターまで。(電話06-6368-1245)
注) 事情により内容に変更が生じる場合があります。

かんだい 明日香 まほろば講座

このたび、本学と奈良県明日香村との共催(朝日新聞社後援)による首都圏での地域連携事業として、「かんだい 明日香 まほろば講座」を開催する。

日時 6月20日(土) 13時～16時(開場12時30分)
場所 日本消防会館ニッショーホール(地下鉄銀座線/虎ノ門駅3番出口徒歩5分)

13:00～13:15	河田梯一関西大学学長挨拶		
13:15～13:30	岡 義清明日香村長挨拶		
13:30～14:30	講演	神戸山手大学教授 河上 邦彦	
14:40～16:00	パネルディスカッション	神戸山手大学教授 河上 邦彦 東京芸術大学教授 緒谷 幸三 神戸大学教授 百橋 明徳 関西大学教授 吹田	

定員は600名で、参加費は無料。申し込み方法など問い合わせは地域連携センターまで。(電話06-6368-1245)



環境にやさしい使い捨て

木下 浩也さん (関西大学生協学生企画室 経済学部3年次生)

割り箸?今どき、何を言ってるの。今はMy箸でしょ。と思う方もいらっしゃるかもしれませんが。そんな方にこそ、もう一度見直して欲しいのが、間伐材の端材で作った「ECOな割り箸」。間伐材とは、立派な丸太(原木)を育成するために、過密に生えている木々の一部を計画的に伐採した木材のことです。その中心部は、建材な

どに利用されますが、建材を取ったあとの端材(写真)がたくさん残ります。それらを有効に活用しようと考えられたのが「割り箸」です。すべての割り箸が環境に悪いと、なんとなく思っていないですか。それは違います。「ECOな割り箸」は、木を最後まで使おうとする、「もったいない精神」から生まれたのです。そんな環境に優しい割り箸を、一度使ってみて! そんなあなたに、朗報です。総合学生会館メディアパーク凜風館2階大食堂テイクアウトには、奈良県吉野産の間伐材の割り箸があります。一度使ってみて下さい。また、関西大学生協学生企画室では「割り箸ツアー」を企画しているの、こちらにもぜひご参加ください。

関大エコスタイル Eco Style

わたしたちから提案します!

リサイクルという名のバトンタッチ

落合 美規さん (政策創造学部2年次生)

私は、卒業生が、自分が使った家具や家電を新入生に安い値段で譲るとい事業を提案します。リサイクルと聞くと、大変ありふれた話であると思いますが、卒業生が新入生に家具や家電を低価格で売るといシステムは新鮮で合理的です。私が何より民間のリサイクル業

者と差を付けたかったところは、ただビジネスとして売ってではなく、同じ「関西大学」というコミュニティーで期待を胸に、これから学ぶ人と感謝の気持ちを込めて出ていく人のバトンタッチの瞬間を、この事業を通して創りたいと考えています。そこで、2つの企画を考えました。

1つ目は、領収書の裏を贈った人の名刺にするというものです。そうすることにより、この場限りの関係で終わること無く、学生生活の相談や新生活の相談などができます。2つ目は、安全性の問題です。そこで専門家を数人招き、その他大勢を補助スタッフとして学内で募集し、検定を買ったという体制を取りたいと考えています。そうすることによって専門知

識が高まるだけでなく地域との交流も可能であると考えからです。

譲った方の特典として、学校にある施設を一定期間自由に利用できるようなにするということを考えています。そうすることで、卒業生が大学を訪れるきっかけ作りになるのではないかと考えます。また、この活動で知り合った卒業生同士が、学部を超えて良好な友人関係を築ききっかけとなり、最高の思い出作りになればと考えています。

簡単・便利☆あなたもはじめてみませんか!?

藤原はるかさん (ボランティアセンター学生スタッフ 政策創造学部3年次生)

去年の学園祭でMy箸袋を販売したことをきっかけに、余り布で作った箸袋にMy箸を入れて持ち歩くようにしています。いつでもどこでも取り出して意外と便利です。また、ちょっとした物が入られるエコバッグも鞆の中に忍ばせ、極力レジ袋を買わないよう心掛けています。荷物が多い時などは普通の手提げ鞆として使っているの、買い物

の頻度にかかわらず大活躍です。家ではエアコンの温度を夏は28℃、冬は20℃に設定しています。寒がりなので冬はきつく感じることもあります。座る位置や風向きを考えるなど工夫しています。また、電気の節約にもなるので、テレビを見る時などは家族と同じ部屋で過ごすようにしています。そして無意識にやっていたことで

が、ご飯を残さないこともエコだと最近気がきました。残飯はゴミにもなりますし、エネルギーの無駄遣いです。何よりもったいないです。他にもゴミの分別やリサイクルに取り組むなど、環境に優しい行動はいろいろできます。「もったいない」という意識があれば、エコ生活は意外と簡単にできるのではないのでしょうか?



環境に適した住宅やまちづくりを提案

木村 達也さん (工学部4年次生)

建築学科では建物をデザインすることだけを学ぶのではなく、そこに暮らす人々の生活空間全般をデザインし、より豊かにすることを学んでいます。しかし、近未来に環境問題の深刻化や、エネルギー供給問題に直面するといわれています。そのような時代においても人々が豊かな住生活を送ることができるように、住生活のエネルギー消費について研

究を始めました。具体的には昨年は、4月に暫定税率の撤廃でガソリン価格が下がり、一方で、8月には180円/Lを越えるなど、価格変動の大きな年でした。そのため2008年を社会実験が行われた年ととらえ、人々の消費行動を調査しようと考えています。また、経済産業省や環境省が発表する政策(太陽光発電の普及目標の制定

など)や予算(どういった対策に割当てられているかなど)などから、現在の日本の都市計画についても考えたいと思っています。今後長期的に続くと言われるエネルギー価格高騰時代や環境問題に対して、新たな消費者のライフスタイルを考えることで、環境共生に適した住宅やまちづくりを提案していきたいと考えています。

みどりのカーテンで涼しい夏を…

田所由佳梨さん (経済学部3年次生)

大阪の夏は地球温暖化とヒートアイランド現象の影響によって、ますます暑くなっています。そこで、クーラーを使わずに夏の暑さを和らげる、みどりのカーテンをご紹介します。みどりのカーテンとは、陽のある窓辺や壁で、ツル性の植物を育てて作る自然のカーテンのことです。葉が夏の暑い日差しを遮る

とともに、蒸散作用によって、周りの気温を下げてくれます。みどりのカーテンの外側と内側では、約5℃の気温差があるそうです。クーラーの使い過ぎは、健康に悪いうえに、電気代もかかります。環境にも健康にも、お財布にも優しいのが、みどりのカーテンです。最近、我が家では、窓辺にゴーヤの

苗を植えました。まだ植えたばかりなのに、ぐんぐん成長しています。夏にいっぱいカーテンができるのを、楽しみにしながら育てています。ゴーヤ以外にも、きゅうりやアサガオなどさまざまな植物で簡単にできるので、窓辺やベランダで育ててみてはいかがでしょうか?



近頃は政府のエコ政策(エコカーやエコポイントなど)が、テレビや新聞・雑誌などで取り上げられ注目されています。主婦の間だけでなく、若者にもオシャレなエコバッグを持つことがステータスになっているエコブームのなか、みなさんもエコに関して色々考えていることや取り組んでいることも多いのではないのでしょうか?

本学でも毎年クールビズをはじめ、再生紙を利用したトイレットペーパーを使用するなどのエコを実施しています。今回は、実際にエコについて取り組んでいる学生のみなさんをクローズアップしてみました!紹介している人それぞれに共通していることは、楽しみながらエコに取り組んでいること。また、「エコって難しそう」というイメージが、一人ひとりの取り組みが、わたしたちが暮らす地球を大切にすることにつながります。みなさんもこれを機に、あらためてエコについて考えてみてはいかがでしょうか。

My箸&Myバックを持ち歩いてみませんか?

梅田 麻菜さん (ボランティアセンター学生スタッフ 社会学部2年次生)

昨年、わたしたちは学園祭期間にエコについての展示、エコバック・箸袋の販売、赤・ゲームを行いました。エコバックは無



地の物を買って頂き布用のペンで自由にイラストを書けるようにしたところ、家族連れに大人気でした。学生スタッフも学園祭以降、エコバック・箸袋を愛用しています。世界に1つだけのエコバック今振り返ってもMyバックを自分の好きなようにアレンジできるというのは本当に良いアイデアでした。たくさんの人々のコミュニケーションも学生生活で忘れられない思い出の1ページになったと思います。また、学園祭中は、分別しやすくするために学内

のゴミ箱に3種類の看板も設置しました。本学学生の皆さんに少しでもゴミ分別を意識してもらいたいと願いながらひとつひとつ心を込めて作成しました。そして毎月第1日曜日にはわたしたち学生スタッフが「ボランティア体験ツアー」と称し、淀川掃除も行っています。5月は連休中にもかかわらず、40名以上の学生が参加しました。受付は総合学生会館メディアパーク凜風館1階ボランティアセンターで行っています。興味がある方は



ぜひ参加してほしいと思います。このように学生スタッフは日頃からエコについて考えることが非常に多く、熱い心を持った人ばかりです。小さなことからコツコツと小さなことでも実践することこそ意味があります。この機会に皆さんもMy箸&Myバックを持ち歩いてみませんか?

My鞆&My水筒で、無理なくエコライフ!

前野 智大さん (経済学部3年次生)

私が個人的に行っているエコは、大きなMy鞆を持つことと、My水筒を持つことです。大きなリュックサックは荷物がたくさん入り、レジなどで「袋はいらないです」と言えるので無駄なゴミが出るのを防げます。毎日行く買い物だからこそ、一人ひとりがエコの意識を持てば、かなりのゴミが減ると思います。これなら無理

せず、誰にでも気軽にできるだろうと思います。もう一つは、My水筒を持つことです。今はおしゃれな水筒などがよく店頭と並んでいるので、おしゃれ感覚で水筒を持てます。これによって、夏場に毎日2本くらい買うジュースを買う必要性がなくなりました。お金の節約にもなりますが、ペットボトルや空き缶などの

ゴミを減らす効果もあり、誰でも気軽に簡単にできます。このように私のエコ生活のこだわりは、自分の生活に無理なく、身近なところからゴミを減らす心がけをすることで、みなさんも、この簡単エコ生活をしてみませんか?とても気分が良く生活できますよ!!

環境家計簿のススメ

清水 茉耶さん (経済学部3年次生)

環境家計簿をご存知ですか?環境家計簿とは、毎月の電気や水道、ガソリンなどエネルギーの消費量をCO2の排出量に換算して記録していくというものです。私は昨年1年分のデータをもとに環境家計簿をつくり、昨年の数値を少し

でも下回るように省エネを心がけています。特に夏や冬は冷暖房を使うためCO2排出量が高くなりやすいので、温度調節をこまめに行うなどの工夫が必要です。省エネ意識を持つことは、CO2排出量を減らすと同時に光熱費の節約にもなります。

「環境家計簿って面倒くさそう」と感じる人がいるかもしれませんが、インターネットで検索すると、データを入力するだけでCO2排出量を計算でき、グラフもつくれるサイトがあって簡単にすることができます。環境家計簿をつけて自分が実際にどれだけのCO2を排出しているのを知り、環境にどれだけ負荷を与えているのか実感してみてください。そして生活を見直してみてもどうでしょうか。

本年度もクールビズを実施

本学では「関西大学エネルギー管理標準」に基づき「省エネ推進委員会」を発足させ、地球環境負荷の低減に向けてサステナブル・ユニバーシティへのさまざまな取り組みを推進しています。平成20年度は、クールビズ、ウォームビズなどの省エネ活動の結果、電気・ガスの二酸化炭素排出量を、平成18年度に比べて205,000Kg(約0.8%)を削減することができました。これは一般家庭が1年間に排出する二酸化炭素排出量の約5.4倍分に相当します。本年度も引き続き二酸化炭素排出量の削減に努めるために、6月1日から9月30日の間は本学の全構成員を対象にクールビズを実施し、冷房時の室内温度を28℃に設定(冷房期間は6月20日から9月20日まで)、不要照明の消灯励行、冷房時の窓・扉の常時開放の禁止など省エネ活動を推進しますので、本学の構成員のみならずサステナブル・ユニバーシティへの取り組みに対し、より一層のご理解とご協力をお願いします。





夏期集中・後期開講講座

6月17日から受付開始!

平成21年度 開講講座の概要

現在、申込受付中(6月17日から受付開始)

※各講座・コースの詳細はエクステンション・リードセンターの講座案内を参照してください。

講座・コース名		講座・資格の概要	開講場所	
英語講座	TOEIC®テスト対策コース	750点目標クラス	天六	
		650点目標クラス		
		550点目標クラス		
TOEFL®テスト対策コース(夏期集中)		留学で求められる英語力の指針留学前に必要なスコア取得をめざす	千里山	
情報処理講座	パソコン検定4級コース2組(夏期集中)		天六	
	パソコン検定3級コース(夏期集中)			
	Excelパーフェクトコース(夏期集中)			
公務員講座	国Ⅱ・地方上級対策講座	専門得点アップコース1	千里山	
	教養対策講座	教養1stステージ(夏期集中)		早期学習で教養科目を得点源に
		国Ⅱ・地方上級対策 数的処理		主要5科目コースの「数的処理」を単一科目で受講
		文章理解・資料解釈対策コース		多くの良質な過去問に触れて読み解くコツをつかむ
	国Ⅰ対策講座	刑法		裁判所事務官の合格に必要なレベルまで学習
会計職講座群	簿記検定講座	3級対策コース2組	千里山	
	公認会計士入門講座	財務会計と管理会計の入門講座を展開		
	税理士講座	簿記論コース		簿記2級レベルから始めて演習・模試まで充実したカリキュラムで合格をめざす
		財務諸表論コース		
簿・財バックコース				
社会保険労務士講座		人事・労務のエキスパート	天六	
色彩検定講座	1級対策コース	専門能力として高い評価の1級の合格をめざす	千里山	

エクステンション・リードセンターでは、キャリアアップに意欲的な学生のみならずを支援するために、さまざまな講座を設けています。それぞれの目的達成のため有効に活用して、よりよい学生生活を送ってください。

「夏期集中コース」と「後期開講講座」の受講申込受付を6月17日から開始しました。
 「夏期集中コース」では、英語講座のTOEIC®テスト対策コース、TOEFL®テスト対策コース、情報処理講座のパソコン検定4級コース・3級コース、Excelパーフェクトコース、公務員講座の教養夏期集中コース「教養1stステージ」を開講します。
 「後期開講講座」では、次の講座の受講生を募集しています。

「英語講座」
 9月中旬から開講するTOEIC®テスト対策コースの申し込みを受け付けています。
 「公務員講座」
 国Ⅱ・地方上級対策講座(専門得点アップコース1)、教養対策講座「教養1stステージ」・「数的処理」・「文章理解・資料解釈対策コース」、国Ⅰ対策講座「刑法」の申し込みを受け付けています。
 「会計職講座群」
 11月の検定試験をめざす9月開講

の簿記検定講座3級対策コース2組)の申し込みを受け付けています。「公認会計士入門講座」と「税理士講座」は11月から開講します。税理士講座では必須科目の簿記論と財務諸表論科目合格をめざします。資格関連講座では、「社会保険労務士講座」と「色彩検定講座1級対策コース」の申し込みを受け付けています。
 申込受付は、リードセンター千里山キャンパス事務室、高槻キャンパスオフィスおよびリードセンター天六キャンパス事務室にて行っています。みなさんの申し込みをお待ちしています。

9月1日(火)受付開始

講座・コース名		講座・資格の概要	開講場所	
司法講座	法科大学院入試対策講座	実践答案練習2ndステップ	ロースクール入試本試験レベルの問題を出題します	千里山

12月1日(火)受付開始

講座・コース名		講座・資格の概要	開講場所	
英語講座	TOEIC®テスト対策コース	650点目標クラス	千里山	
		550点目標クラス		
公務員講座	国Ⅱ・地方上級対策講座	面接対策コース	千里山	
		専門得点アップコース2		
	教養対策講座	主要5科目演習コース		実践力の養成で、本試験に備える
		教養2ndステージ		本試験直前の対策で、効果的に得点アップ
簿記検定講座	2級対策コース2組	ビジネスリーダーの必須能力	千里山	

「経済・政治研究所」
 経済・政治研究所では、次のおり2つのテーマにて第181回産業セミナーを開催します。
 日時 7月2日(木) 13時~16時10分
 場所 千里山キャンパス 思島催議館第2会議室
 テーマ 市民自治と現代都市
 講師 市民参加研究班 主幹 法学部教授 寺尾俊徳

「3研究所合同シンポジウム」
 東西学術研究所 経済・政治研究所 法学研究所で7月11日(土) 13時~17時30分
 会場 千里山キャンパス 尚文館1階マルチメディアAV大教室
 テーマ 中国における「和諧社会」の経済的・法的側面と日中経済関係の展開
 講師 孫新、青木俊一郎、劉小勇、趙静波、田尻、高華森(コメント)
 聴講自由。問い合わせは、研究所事務室(電話06-63681179)またはウェブページ(http://www.kansai-u.ac.jp/human)を参照してください。

受付場所・時間

- ☆千里山キャンパス
 【リードセンター千里山キャンパス事務室】
 千里山キャンパス第3学舎3号館2階
 10時30分~21時
 (日・祝日および本学休業日を除く)
- ☆天六キャンパス
 【リードセンター天六キャンパス事務室】
 天六キャンパス1階(大阪市北区)
 阪急千里線・地下鉄谷町線・堺筋線
 天神橋筋六丁目駅⑤出口徒歩5分
 13時30分~20時
 (日・祝日および本学休業日を除く)
- ☆高槻キャンパス
 【高槻キャンパスオフィス】
 10時~16時
 (土・日・祝日および本学休業日を除く)

問い合わせ

- 【リードセンター千里山キャンパス事務室】
 電話06-6368-0721 (10時30分~21時)
 - 【リードセンター天六キャンパス事務室】
 電話06-6358-9901 (13時30分~20時)
- http://www.kansai-u.ac.jp/extension/top.html

受講相談・ガイダンスのご案内

【受講相談】
 講座や資格取得についての相談や質問は、随時エクステンション・リードセンター千里山キャンパス事務室にて受け付けています。どんな資格や試験も、早めに情報を集めて対策を立てることがポイントになります。講座について一般からないことがあれば、いつでもリードセンターに問い合わせてください。

【ガイダンス】

講座・コース	月日	時間	場所
公認会計士入門講座	10月14日(水)	18時30分~19時30分	千里山
	11月11日(水)	12時20分~13時	
税理士講座	10月21日(水)	18時30分~19時30分	千里山
	11月18日(水)	12時20分~13時	
社会保険労務士講座	6月24日(水)	18時30分~19時30分	天六
	9月25日(金)		

※内容などの詳細については『講座案内2009』p.5をご覧ください
 ※実施教室は当日リードセンター事務室前に掲示いたします。

「人権問題研究室 公開講座」
 人権問題研究室では、研究成果を学内および社会に広く還元し、大学内外における人権意識の向上に寄与するため、学生・教職員・市民を対象に公開講座を開催します。
 日時 6月26日(金) 13時~14時30分

「11-u.ac.jp/Keiseiken」を参照のこと。
 場所 千里山キャンパス 尚文館1階マルチメディアAV大教室
 テーマ 多文化共存の時代「向けて」英語「極化」に対する「欧州連合(EU)の言語教育政策」
 講師 外国語学部教授 杉谷真佐子
 問い合わせは人権問題研究室まで。(電話06-63681182) 詳しくはウェブページ(http://www.kansai-u.ac.jp/human)を参照してください。(人権問題研究室)

関大通信 第363号

平成21年(2009年)6月18日
大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は7月10日発行の予定です

特集
学生企画

「留学」この言葉を聞きあなたはどんなことを想像するだろうか?
「大変そう...」、「行き先の雰囲気は?」、「言葉の問題は?」
そんな疑問を解決するため、今回は学生広報スタッフが留学・語学研修等について取材。
経験者へのインタビューや、大学生活でも役立つ語学の勉強法など多彩な内容でお届けする。

世界に飛び出せ関大生

~留学ってどんなん?~

留学経験者に、学生広報スタッフが取材!



RUSSIA
海外での体験談【ロシア】
滞在先のロシアにて撮影

日本人的常識は通用せず
前向きな姿勢で行こう

須鼻 曜子さん(総合情報学部 4年次生)

昨年1年間、国費留学でロシアに渡った須鼻曜子さんは、留学準備中に語学の勉強はあまりしなかったと語る。確かに語学は大切だが、難しい文法や構文を覚えるよりも相手の文化や宗教、マナーについての理解を深めておくことのほうが大切だと彼女は言う。日本人的常識が通用せず、こちらが礼儀正しいことだと信じてやっていたことが、相手にとっては不可解であったり、不愉快であることが多いようだ。「相手の性格や、どういことを考えていて、何を基準にしていて、何を求めているのか。そういったことを常に考え、理解しながら行動する。そういったことがコミュニケーションをとることの本質だと思います」と彼女は話す。

そんな中で、現地をよく知る日本人留学生や、留学経験者の存在は彼女の中で大きかった。「何か困ったときに頼りになる」ことはもちろんだが、ロシアに対して理解を深めるときに本には載っていないような「生きているロシア」の情報をたくさん得ることができたという。

「何とかなる、何とかやっという」と前向きな気持ちを持ち続けることが大切だと思います。粘り強く頑張れば言葉が通じなくても思いは相手に伝わりますから」と彼女は明るく話す。その表情には、留学で手に入れた「行動力と根性」に裏づけされた「自信」がみまがっていた。

NEW ZEALAND
海外での体験談【ニュージーランド】

価値ある経験を積み
「考えることの大切さ」を実感

三上 洋さん(政策創造学部3年次生)

私は、ニュージーランドのワイカト大学での政策創造学部主催の海外短期留学プログラムに参加しました。費用は決して安くはないけれど、費用のことを感じる感じがなくらい、とても価値のある体験をすることができました。

ニュージーランドでは、ホームステイをしていました。ホストファミリーはとても温かく家族の一員として迎え入れてくれ、学校から帰って来るといつも「今日はどうだった」とか「何を勉強した」とか聞いてくれました。ホストファミリーの子供と一緒にテレビを見たり、毎日のようにプールに入って遊んだり、いろいろな話をしたりしました。話したい気持ちと少しの勇気があれば、たとえ語学力が無くてもちゃんとホストファミリーに気持ちは通じると思いました。

平日は、ワイカト大学で中東問題に関する講義を聴いたり、テキストを読んだり、また最後にはレポート作成やプレゼンテーションをしたりと、内容は難しいハードでしたが、とても充実していました。休日は、いろいろな観光地を回りました。

この留学を通じて学んだことは「考えることの大切さ」です。ホストファミリーに「なぜ、食事の前に手を合わせる?それは、どういう意味?」と聞かれました。日本での当たり前がニュージーランドでは当たり前でない。留学を通して、今、何気なくしていること、今の自分の生活について考えてみようと思いました。



滞在先のニュージーランドにて撮影(左から2人目)

HILIPPINES
海外での体験談【フィリピン】

人種は違うが
触れ合いを学ぶ

植田 詩織さん(総合情報学部3年次生)

フィリピンのマニラ近郊にあるブラコンステイトユニバーシティと連携して小学校の先生に技術支援をする活動に参加しています。フィリピンでは情報機器があまり普及しておらず、情報スキルを持った先生は少ないという状況です。

今年の3月に、現地へ赴いて活動をしました。プレゼミでは英語の音楽や映画と触れ合ったり、英語でコミュニケーションをする時間をつくったりと、英語力を入れていましたが、なかなかコミュニケーションがとれず戸惑うこともありましたが、一緒に作ったバウポイントで先生が授業で使い、生徒たちが熱心に聴いている姿がとても心に残っています。



滞在先のフィリピンにて撮影(下から2列目、左から2人目)

海外に行くにあたり、ある程度の語学力があれば心強いはず。
そこで、学生広報スタッフが外国語学部の田尻悟郎教授に語学の学習法について聞いてみた。

「音読が有効です。——楽しく学ぼう」

効果的な学習法は?という問いに対して、田尻教授は開口一番答えてくれた。その根拠は音読の際使用人間の器官の多さである。音読をしているとき、人は目、頭、口、耳を使うことが大きいとのこと。

教材についても「何か好きな物を選んで聞き続けるという事で」と興味を持てる CD や DVD の使用を勧めた。特に DVD は字幕が日本語と原語と2種類出るものがあり、日本語訳だけでなく実際何と言っているのかを確認できるのがいいとのこと。好きな物で語学を学習することで継続的にできそうな気がする。

そういった学習の中で重要なことは伸長感(前よりも伸びているという感覚)を得ること、つまり「できた」という感覚が大切なようだ。語学の学習は大変であるが楽しくやるというのがカギになりそうな感じがした。

田尻悟郎先生
プロフィール

鳥根県出身。中学校で英語教師を歴任し2007年より本学教授に着任。2004年にはニュースウィーク誌(日本語版)が選ぶ世界のカリスマ教師に選ばれた。

新型インフルエンザに
関する注意事項

新型インフルエンザの感染および感染が疑われている国・地域への渡航については、本学ホームページ重要情報に掲載している『在学生・教職員の方へ』感染症危険情報にて本学の措置を確認してください。



一緒に『関大通信』を盛り上げよう!
現在、広報課では学生広報スタッフを募集しています。
詳細はインフォメーションシステムでお知らせしています。

企画・編集:学生広報スタッフ(50音順)
上塚太貴(政策3)・菅原直亮(情2)・田沢和彦(情3)・平岡菜穂(情4)

ただだけでは参りです。
(大和 礼子)

筆者が初めて海外での長期滞在を経験したのは30歳代も半ばを過ぎてからだった。本学からの助成を得て英国の大学に1年間滞在了。現地の人々のスピーチやおしゃべりについていくことはなかなか難しく、図書館で文献リサーチをしたり英文ペーパーを書いたりして過ごすことが多かった。おかげで英文の読み・書きにはかなり慣れたが、聞くこと・話すことは今でも苦手である。ただ細かい間違いは気にせずコミュニケーションでできるようにしようと思ったし、異なる文化・社会・自然の中で生活し、あれこれ不満をいっつも英国という国が好きになった。今号では第8面で留学や語学研修について特集した。長期休みの過ごし方として参りです。

編集後記

岡田 朋之(おかだ・ともゆき)教授
既存の枠にとわれないメディア研究を展開。兵庫県教委の情報モラル研修教材作成委員長、ネットいじめ研究会副委員長を歴任し、情報化の社会的影響への対策にも奔走している。



今月の表紙